

# 保険で良い歯科医療の 実現はみんなの願い



とぼしい年金生活。  
高齢者の負担を  
少なくしてください。  
(80代・女性)

むし歯や歯肉炎に  
ならないためにも  
予防や検診は  
大事だと思う。  
(30代・男性)

費用が心配。  
健康保険でできる  
治療を増やしてほしい。  
(60代・女性)

子どもの学校検診で  
歯科矯正の  
必要を指摘されたが、  
費用が高い。  
(30代・女性)

装着感がよい  
入れ歯にしたいが、  
保険がきかず、  
かなりの高額になる。  
(60代・男性)

安全で、日常診療でおこなわれているにもかかわらず、  
健康保険のきかない歯科治療が数多くあります。  
患者さんが必要な歯科治療を受け、  
歯科医療従事者の技術を正当に評価するためにも  
歯科医療にかかる国の予算を増やすことが必要です。



「保険で良い歯科医療の実現」のため、ウラ面の署名にご協力をお願いします。

# いつでも、どこでも、だれもが、お金の心配をせず 「保険で良い歯科医療」の実現を 求める請願署名

歯とお口の中を健康な状態に保つことと全身の健康は深く関係しており、歯を治療することが生活習慣病の改善にも繋がるなど、健康長寿社会に向けて歯科医療の役割はますます重要になっています。

しかし、格差と貧困の拡大を背景に経済的理由での未受診が増え、早期受診や治療の継続が妨げられる状況の中で、子どもから高齢者まで口腔の健康悪化や口腔崩壊ともいえる深刻な事態も広がっています。

さらに歯科では、一般的に普及した治療で保険のきかない治療があるために、受診を妨げる要因にもなっています。丈夫で違和感が少ない金属床の入れ歯や自然の歯の色に近い被せ物、学校歯科検診の項目に入っている歯並びにかかわる矯正治療なども保険のきく範囲は制限されています。

また、長年にわたる国の歯科医療費を抑制する政策により、歯科医院の経営も厳しく、入れ歯や詰めものを製作する歯科技工士や口腔ケアの担い手である歯科衛生士の評価も低く抑えられてきました。

「お金の心配なしに受診したい」「保険のきく治療範囲を広げてほしい」、これは患者・国民に共通する切実な願いです。

「保険で良い歯科医療」の実現を求めて、以下の項目を請願します。

## 請 願 項 目

- お金の心配をせず、歯科医療が受けられるよう、窓口負担を軽減して下さい。
- 保険のきく歯科治療を増やして下さい。
- 歯科医療にかかる国の予算を増やして下さい。

お名前	ご住所